

経産省前テントひろばニュース

テント強制撤去から 3339 日原発再稼働糾弾！

第 321 号

編集・発行
テントひろば運営委員会

さようなら原発 9・23 全国集会

この日は秋分の日で祝日。全国各地から 4500 人が集まって『ともに声をあげよう！～脱原発と気候正義のために～』のタイトルのもと「さようなら原発 9.23 全国集会」が開かれました。

経産省前テントひろばは、9 時半に事務所に集まって、配布用のテントニュースなどのチラシ類、「脱原発」10 本や各種書籍などの販売物をもって会場の代々木公園にタクシーで向かいました。

会場の代々木公園では、すでに各ブース出展者はテントを設営し終えていました。早速、テントとテーブル、椅子などを借りて設営し、諸物品の販売準備にかかって「さようなら原発集会」の代々木公園に来る人々を出迎え、11 時前に「脱原発」焼酎などをテーブルに並べて販売を始めました。

11 時の開店時間までにテントひろばの関係者が何人も手伝いに来てくれました。山本さんを先頭に、皆でテントニュース 320 号をバックナンバーと一緒に組んで、ブースの前での配布に協力していただきました。そのころ、ミニステージでは、12 時から気候変動と原発、「台湾の脱原発報告」が行われています。（写真は乾さん提供）



メイン集会は、13 時からのオープニングライブが半農半歌手・Yae さんの歌で始まりました。トークライブでは呼びか

け人から鎌田慧さん（ルポライター）、落合恵子さん（作家）が発言され、さらにワタシのミライの川崎彩子さんが気候正義と脱原発に向けて社会運動に取り組む決意を話しました。また、高橋哲哉さんは「原発は四つの犠牲、過酷事故による犠牲、原発労働者の被曝労働、ウラン鉱山の開発により先住民を追い出す、放射性廃棄物で後生の人に押しつける。原発固執の理由に核武装の能力保持がある」と指摘されました。

その後、No Youth No Japan の足立あゆみさん、原木椎茸を生産している飯泉厚彦さん、飯泉厚彦さん、反貧困ネットワークの加藤美和さんのパネルトークが行われ、それらの発言は、マイク音声ブースにも届きました。

3 時前の各原発現地の報告で集会が終わりに差し掛かって渋谷方面と原宿方面の 2 つ

のパレードが出発の準備にかけると、皆で「撤収」作業に取り掛かり、15 時には撤収が完了。この日、「脱原発」1 本が売れ残ってしまいました。（EO 記）



放射能汚染水海洋放出は許せない！

—第2回「脱原発カフェ」開催報告—

9月21日(日)16:00~18:00、経産省前テントひろば事務所にて第2回「脱原発カフェ」が開催され、活発な討議が行われました。以下にその概要をご報告します。

【汚染水海洋放棄に関して

石上健二さん(経産省前テントひろば)による報告】

《元は、トリチウム(元素記号T)濃度(以下T濃度と記す)がリットル当たり6万ベクレル(以下Bq/Lと記す)以上のアルプス汚染水は海洋放棄できなかったところ(告示濃度限度)、年間放出量を22兆Bq以下にすることで、T濃度100万Bq/Lまで放出できると変更し、今まで14回、T濃度14万から38万Bq/Lのアルプス汚染水を合計109,778m³、海洋放出した》

まず、40倍に薄めたときのT濃度、1500Bq/Lというのがあった。沖合に捨てるのではなく、河口や海岸に捨てる場合に局部的な溜まりを防ぎ、速やかに海水と混ざるように考えられたもので、告示濃度限度の6万Bq/Lを越えていないことを放出直前で再確認するためだった。つまり、40倍に薄めたときの1500Bq/Lは、希釈前の濃度限度値6万Bq/Lと同じことを意味していた。

しかし実際は、トリチウムの告示濃度限度を無視し、海水で薄めることで放射能を減らせるという嘘を主張し、いくらかでも薄めて1500Bq/L以下になれば海洋放出できるという間違った基準適用を公言している。

更に今では、国の規制基準を放出口で6万Bq/Lと言い換えている(例えば、《2024年10月、経産省、ALPS処理水の処分に係る安全・風評対策の最近の動向》に於いて、《トリチウム濃度、国の規制濃度(放出口)6万Bq/L》との記載がある)。

海水で740倍に薄めても、薄めた全部を放棄すれば放射線の総量は同じだ。740倍に薄めた放出口でのT濃度が6万Bq/Lということは、希釈前には4440万Bq/L。この数字は政府・東電の規制基準によって現在では100万Bq/Lを限度に制限されているはずなので、成り立たない。何よりもまず、政府・東電は薄めることによる放射線の減少を説明しなくてはならない。

【参加者からの発言】

◎世界中の他の原発でも汚染水は発生していると政府は言っているが、事故のデブリに触れた汚染水を流すということはどこもやっていない。これは世界の海に影響を及ぼす犯罪的なことだ。

◎トリチウムしか含んでいないかのように言われているが、実際は他の核種も取り切れていない。それが食物連鎖で濃縮されていく危険性がある。

◎他に代替策はいくらでもあったのに、海洋放出という最悪の方法を選んでしまった。

◎海洋放出はタンクが「廃炉作業の邪魔になる」ということを口実に行われているが、廃炉など実際にできるのか。14年掛けて0.9グラムしか取り出せていない。廃炉工程自体が完全な虚構だ。虚構の上に国民を騙し「汚染水はたいして害がない」から流すということが行われている。その先に原発再稼働や核燃サイクル推進がある。

◎9月3日の東電本店前行動で「ALPS処理汚染水の海洋放出差止訴訟」原告団の事務局長・丹治杉江さんからメッセージをいただいた。差止訴訟への支援も重要だ。

【次回開催について】

・第3回脱原発カフェは10月26日(日)16:00~18:00 経産省前テントひろば事務所にて開催を予定。藤原節男さん(元原発技師)に、柏崎・刈羽原発の耐震性について報告いただき、再稼働を止めるために電力消費地に住む私たちが今なすべきことは何かを考えます。(漆原記)

脱原発青空テント川柳句会

9月28日(日)経産省前で12時より開催されました。時折、日が陰るものの、陽が照ると、まだ、かなり蒸し暑い一日でした。

今回の川柳句会参加者は7名。席題は「知」、「つくる」14時35分、投句締め切り、入選者の発表、披講となりました。

入選句が発表され、「原発ですべて台無しに」の大きな梨、「原発は未完の技術、これでもうカンカン！」ミカンの缶詰、雑誌「Big Issue」などが乱さんより入選者に手渡されました。入選句は以下の通りです。

「知」の特選

- ・歴史への 無知が自分の 首絞める - 夜市
- 「知」の秀句
- ・無知のため 災害対策 被害大 - 原子力ガリレオ
- ・学問こそ 頭数より 国富ます - ふ64
- ・知を持たぬ 愚民騙して 多数とる - 水蓮仏
- ・汚染土の ヒバクも知らず 再利用 - 芒野
- ・西洋の知性 虐殺 支援する - 夜市

「つくる」の特選

- ・増税の 理由をつくる 財務省 - 水蓮仏
- 「つくる」の秀句
- ・基地作り ハザマ三菱 喜ばず - 夜市
- ・保育所を つぶし原発 作る国 - 夜市
- ・戻せない 汚染をつくる 原子力 - 芒野
- ・法律で 無駄めし食べる 人作る-原子力ガリレオ
- ・飯作り 育児し介護し 侮られ - 幸柳

次回の脱原発テントひろば青空川柳句会は10月26日(日)12時より開催いたします。

是非ご参加ください。(芒野)

集会・行動予定

- ◆ 10月8日(水) 12時~13時
原子力規制委員会前抗議行動(毎週水曜)
- ◆ 10月10日(金) 17時~18時
経産省前抗議集会(毎週金曜)
主催：経産省前テントひろば 場所：経産省正門前
◎ 経産省前の座り込み行動は、平日:12時~16時(月~木)、13~17時(金)、現在土・日・休日の座り込み行動を休止しています◎
- ◆ 10月17日(金) 18:30~19:45
原発いらない金曜行動 首相官邸前
- ◆ 10月24日(金) 14時半~15時45分
117回 JKS47 月例祈祷会
場 所 経産省前テントひろば
- ◆ 10月26日(日) 12時~
脱原発・青空川柳句会
主催：経産省前テントひろば・乱鬼龍

《経産省前テントひろば》

住 所:〒105-0003 港区西新橋1-21-8 新虎ビル2F
・電 話:070-6473-1947
・郵便振替口座=00160-3-267170
・口座名義=経済産業省前テントひろば
WEB: <http://tentohiroba.tumblr.com/>
Mail address: tentohiroba@gmail.com